

gooddays

Vol. **10**

around KANDA NISHIKI - CHO
New Culture & Alternative Lifestyle

2017 AUTUMN ISSUE
PRICE 0 YEN

特集・神田錦町界隈、アートに出会える街



神田錦町界隈、 アートに出会える街

TEXT・Yuki Motomura / PHOTO・Yuta Suzuki

毎年秋になると、街のそこかしこでイベントが開催され、神田錦町界隈は俄かに活気づく。なかでもアートイベントの「TRANS ARTS TOKYO」は、期間中ビルの一角や通りが会場になり、国内外のアーティストの作品を見ることができるなど、街全体が1つのギャラリーになったようなワクワク感がある。様々なイベントも開催され、お祭りのようにたくさんの人で賑わい、美術館やギャラリーで対峙するのはまた違った形でアートに触れることができる。

今号のテーマはずばり「アート」だ。とはいえ、小難しいアート談議を展開するわけではない。神田錦町界隈には、「TRANS ARTS TOKYO」をはじめ、大小様々なギャラリーや、アートに特化した古書店、学校などが数多くある。普段何気なく通り過ぎていくかもしれないが、この街にはアートに関連するものがたくさんあるのだ。

あるアーティストは、「カラフルな街並みが大好き。元気をもらえるし、作品のインスピレーション源になる」と話してくれた。そう、アートが街に溢れると、なんだか楽しくなる。美しいものには、心を動かす力があるのだ。

さあ、見たことのないもの、美しいものを探しに、街へ繰り出そう。

ART IS FUN



GOOD DAYS STORY
Vol.
12

Message from
emmanuelle moureaux



東京に住んでおよそ20年、神田錦町界隈に事務所をかまえてからは14年ほど経ちます。昔ながらの日本の息づかいが感じられるこのエリアが好きで、最初から事務所の場所は決めていました。

2003年に日本で一級建築士免許を取得して、事務所をかまえることになったのですが、今の事務所からすぐ近くのREN BASEが始まりました。当時はまだシェアオフィスという発想が珍しかったと思います。実は私はREN BASEの入居者第1号なんですよ。2年ほど経ち、事務所を借りることにしましたが、このあたりの雰囲気が大好きで、ずっと神田錦町界隈にいます。昔ながらの街並みが落ち着くので、神田駅西口商店街や、神保町のすずらん通りをよく歩いています。細い裏道を見つけると、ワクワクしますね。

初めて日本に来たのは1995年で、大学の卒業論文のテーマが東京と関係するものを選んだので、リサーチで訪れたのが最初でした。高校生の頃から日本に関心があり、日本について研究していたのですが、電車を降りて初めて東京の街を見たときに、すぐたくさんの色が目に飛び込んできて、その美しさに衝

変わら
ないカラフルな美しさを表現し続けたい

変わり続ける東京の街並みを肌で感じながら

撃を受けたのを覚えています。フランスは石造りの建物がほとんどで、街にあまり色がありません。その反面、東京は建物のデザインや高さもバラバラで、街が色のレイヤーで構成されていると感じたのです。そんな衝撃の体験をきっかけに東京に移り住むことを決め、翌年には移住していました。

私の作品は東京のカラフルな“色”と、街を構成する複雑な“レイヤー”、そしてふすまや障子といった日本ならではのフレキシブルな“仕切り”から着想を得た、独自の「色切/shikiri」コンセプトを基に創作しています。それらはすべて私が初めて東京の街並みを見て感じたエモーショナルな体験がベースになっています。建築にも美しい色を取り入れているほか、最近では“100 colors”というプロジェクトに取り組んでいます。100色で構成した空間をさまざまな場所で展開しているのですが、たくさんの方から反響をいただいています。

色は元気を与えてくれますし、人を笑顔にさせる力を持っています。美しい色を使って作品を作ることで、たくさんの人に感動していただけたらと思っています。いつか私の大好きな神田錦町界隈でも、色を使った建築物を手がけられたらいいですね。

エマニュエル・ムホー emmanuelle moureaux
建築家 / デザイナー

1971年フランス生まれ。1995年フランス国家建築家免許取得、翌1996年東京に移住。2003年一級建築士免許を取得し、同年からemmanuelle moureaux architecture + designを主宰。東京の“色”と街並が成す複雑な“レイヤー”と、日本の伝統的な“仕切り”から着想を得て、色で空間を仕切る「色切/shikiri」コンセプトを編み出す。色を平面的ではなく三次元空間を形作る道具として扱い、建築(巣鴨信用金庫他)、空間デザイン(ABCクッキングスタジオ他)、アート(UNIQLO、ISSEY MIYAKE 他)など多様な作品を創造し続けている。東北芸術工科大学准教授。
www.emmanuelle.jp



ART SPOT around KANDA NISHIKI-CHO

神田錦町界隈には美術学校やギャラリーなどが数多くあります。
なかでもおすすめのスポットをご紹介します！



01 美学校

アートを志す者に幅広く門戸をひらく自由な表現の場

1969年に現代思潮社によって設立された美学校は、設立当初から赤瀬川原平や濑澤龍彦といった、ある種時代を象徴する講師陣が教壇に立ったことでも知られる美術学校だ。古いビルのワンフロアが校舎になっているのだが、壁や床の隅々にまで歴史が刻み込まれていて、独特な雰囲気を感じさせている。授業で使用される教室の他に、制作スペースや暗室なども完備。現在も美術と音楽を中心とした特色ある講義を展開中。入学にあたり試験は必要なく、「学びたい」という意思があれば十分とのこと。見学も随時受け付けているそうなので、気になった方は問い合わせよう。

東京都千代田区神田神保町2-20 第2富士ビル3F
受付時間 平日 13:00-18:00
bigakko.jp

005



02 文房堂 Gallery Cafe

老舗画材店が新しくオープンした
ギャラリーカフェ

明治20年創業の老舗画材店「文房堂」が2016年8月に新しくオープンしたギャラリーカフェ。もともと同館4階にもギャラリーがあったが、若いアーティストでも借りやすい場所を提供し、より多くの人にアート作品を楽しんでほしいという思いから、カフェ形式でリニューアルオープンした。IFNI COFFEEの豆を使用し、神保町にある人気タルト店「STYLE'S CAKES & CO」のケーキを仕入れるなど、メニューにもこだわりが。是非足を運んでほしい。

東京都千代田区神田神保町1-21-1 文房堂 神田本店3階
平日・土日祝 11:00-19:30 / 年中無休
bumpodo.co.jp/gallery/



03 ボヘミアンズ・ギャラリー

目利きの古書店がセレクトした
美術品をゆっくり堪能できるギャラリー

美術関係の画集、図録、評論を中心に、デザインや建築、写真や哲学などさまざまなジャンルを取り揃える古書店の夏目書房が運営するアートギャラリー。親子2代で仕入れているという美術品は、60-70年代を中心とした日本の現代美術を中心に、海外アーティストのものも幅広く扱っている。作品はウェブサイトでも見ることができるが、企画展として編集されたギャラリー空間で実際に目で見ること、古本同様、出会う喜びを感じることができる。

東京都千代田区神田神保町1-25 神保町会館3F
会期中無休 12:00-18:00
bohemiangallery.com



006



神田錦町界隈で開かれる年に1度のアートのお祭り

TRANS ARTS TOKYO

街の変化とともに進化しつづけるアートプロジェクト

2012年にスタートしたアートプロジェクトで、初年度は使われなくなった東京電機大学を1棟まるごと使用して開催。翌年には旧校舎を一部使用した以外は、大規模な都市開発がおこなわれている神田の街を舞台に、アーティストやクリエイターたちが作品を発表する、都市空間を活用した街ぐるみのアートプロジェクトに変化を遂げた。

しかも、単純に街を舞台にしているのではない、初年度から継続している「池田晶紀ポートレートプロジェクト」や、五十通りと一八通り周辺の店舗やビルが会場となった体験型のプロジェクトなど、街の人を巻き込みながら、コミュニティに根ざしたアートプロジェクトとして、街の変化に合わせて毎年新しいテーマに取り組んでいる。



移動型音楽 LIVE ツアー

アーツ千代田 3331やワテラス、小川広場の他に、神田錦町の町会事務所の敷地に盆踊りのやぐらを設置、神田の街を移動しながらその場所の風景、空気、音を肌で感じながら様々なアーティストがLIVEを行います。出演アーティストや参加方法などは随時WEBサイトにて公開。

10/28(土) 11:00~20:00

アーツ千代田3331、ワテラス、小川広場、TAT STATION

Project 1

TRANS ARTS TOKYO 2017のテーマは WHAT'S "UP TOKYO"?

今年で6回目を迎える「TRANS ARTS TOKYO」。2017年のテーマはWHAT'S "UP TOKYO"?!だ。東京の上の方にある谷根千、本郷、上野、湯島、御茶ノ水、秋葉原、神保町、神田を"UP TOKYO"エリアと名付け、それぞれのエリアと連携を図りながらアートプロジェクトを展開していく。多くの作品が街をにぎわせ、様々な人と人、文化と文化、歴史と歴史が混ざり合う、これからの東京のクリエイティビティと魅力を伝える内容になっている。

TRANS ARTS TOKYO 2017 期間:10/13(金)~10/29(日)
会場:TAT STATION、五十通りエリア、一八通りエリア、小川広場、ワテラス、アーツ千代田 3331、美学校
主催:TRANS ARTS TOKYO 2017 実行委員会 kanda-tat.com



Project 2

磯崎道佳『ミーティング・ドーム』 『マキオパレード - パラシュートと マキオ in "アート縁日"』

日本各地でこどもを対象にした公開制作やワークショップをおこなうアーティスト・磯崎道佳によるプロジェクト。
『ミーティングドーム』10/20(金)~10/22(日) ワテラス淡路公園
『マキオパレード』10/28(土) 11:00~20:00 五十通りエリア



Project 3

五十一ハクリエイティブ・プロジェクト

2015年から継続しているプロジェクトで、韓国通りの一本南側を走る「五十通り・一八通り」の店舗やビルオーナーの方々やアーティストが繋がり、街に様々な動きを起こします。
10/13(土)~10/29(日)
五十通りエリア、TAT STATION



Project 4

アーティストイニシアティブ・コマンド N 20周年記念展「新しいページを開け！」

TRANS ARTS TOKYOをはじめ、街とともにあるアートプロジェクトを手がけるコマンドNのこれまでのプロジェクトを振り返る、20周年記念企画。
10/20(金)~11/12(日) アーツ千代田3331



Project 5

UP TOKYO サミット

2020年に東京で開催されるオリンピック・パラリンピックへ向けたUP TOKYOエリアのナショナルハウス構想を語り合う。
詳細はWEBサイトにて随時公開。
kanda-tat.com

国内外のアーティストが滞在し、制作・発表をおこなう「AIR 3331」。
そこで彼らが見たもの、感じたものとは。



" The Shape of a Fiction. "

ここ数年、原子力の文化や放射能をテーマにした作品を展開していて、2011年に起こった東日本大震災による環境被害の影響にも強い関心を持っています。今回の滞在では、実際に福島県いわき市を訪れ、海岸で出会ったテトラポッドのデザインがとても印象に残り

ました。この作品は、テトラポッドの進化がテーマです。マテリアルの性質を辿っていくと、人間の進化の過程を見ているかのようでもあります。神田錦町は落ち着いた雰囲気、作品制作しやすかったです。

クリスチャン・ダニエリウィッツ(デンマーク)

Schedule

AIR3331

- ギョンウォン・ユン(韓国) / 滞在期間: 8 / 23(水)~11 / 14(火)
- イグナシオ・チーコ(アルゼンチン) / 滞在期間: 8 / 18(金)~10 / 30(月)
- セシリア・ウェスターバーク(デンマーク) / 滞在期間: 10 / 2(月)~10 / 27(金)

※ギョンウォン氏およびイグナシオ氏は、TRANS ARTS TOKYO 2017 の「アート緑日」にて展示を予定。
詳しくは kanda-tat.com をご覧ください。

連載
企画

錦町さんぽ

如月まみが案内する、神田錦町界隈の四季

文・「神田錦町 如月」女将 如月まみ 写真・鈴木優太

Vol. 10



第 10 回

馴染みの店で、骨董談議

すっかり涼しくなって、街歩きが気持ちいい季節になりました。今回は、少し足を伸ばして、神田司町にあるオルタナティブベースTETOKA(テトカ)を訪れました。

カフェとギャラリースペースを併設した空間なのですが、アート作品の展示はもちろん、タロット占い、蚤の市や音楽イベントが開催されるなど、いつ行っても楽しい発見があります。そして、とにかくここに集まってくる人たちが面白い! 今回訪れたときは、骨董商の長谷川迅太さんの展覧会をやっていました。ちょうどご本人がいらして、それぞれの作品との出会いを伺い、改めて古物の魅力を感じました。



神田錦町 如月
Kanda Nishiki-cho Kisaragi

酒場のおんな「如月まみ」が女将として立つ和食屋。如月まみが全国から選び、取り寄せた旨し酒と肴に料理人多賀谷が作り出す、和の味わいをお楽しみください。

東京都千代田区神田錦町 2-3-10
TEL 03-3518-2212
kandanishiki-kisaragi.jp
月~土 17:00-22:00 / 日祝 定休



TETOKA
テトカ

神田の古屋をセルフリノベーションし、カフェとギャラリーを併設したオルタナティブスペース。さまざまな展示やイベントを開催している。

東京都千代田区神田司町 2-16
築道庵 1 階
tetoka.jp
月・火/木~日 16:00-23:00
水曜 定休



神田警察通り賑わい社会実験 2017

Event Date:
2017/10/23 MON - 10/29 SUN



縁むすび学校①「神田錦町音あそび」

屋外のランチタイムを、気軽にいろんな楽器に触ってフレッシュがでたら楽しめてしまうプログラム。28日は工藤流津軽三味線師範・工藤菊詩城氏から教わる「師範が伝授！三味線体験」ほか、楽器や音をめぐる見逃せない体験が色々。

10/27(金)12:00-13:30、17:00-21:00 10/28(土)12:00-15:00

会場：ちよだプラットフォームスクエア界隈
(千代田区神田錦町3-21および3-15)

縁むすび学校③「子どもとアート」

子どもを対象に、お祭り気分を盛り上げる半纏の紋やロゴデザインを募り、28日には、職人による引染め実演と手ぬぐいの染物体験も。カッコよく半纏を着たり手ぬぐいを使えるようになる「神田祭の紹介&半纏講座」も楽しみ。

10/27(金)17:00-21:00 10/28(土)10:30-15:00

会場：ちよだプラットフォームスクエア界隈
(千代田区神田錦町3-21および3-15)

本と街の案内所、すずらん通りに移転

NEW VENUE | Building

「本と街の案内所」がすずらん通りに移転、装いを新たにした。小学館の本のショールーム「小学館ギャラリーBH神保町」内のいちスペースとして展開、常駐の案内スタッフやタッチパネル端末も健在で、本やこの街を知る手がかりを与えてくれる。

本と街の案内所

東京都千代田区神田神保町1-15-2

(小学館ギャラリーBH神保町内)

月～土 11:00-18:00

日祝・年末年始 定休



神田らしい賑わいのあるまちづくりを目指し、地域のパブリックスペースを舞台に「いい場所づくり」が展開される。音を楽しみ、スポーツとアートが融合し、子どもが賑わう、そんな各種コンテンツからなる「神田錦町縁むすび学校」や、新機軸の観光案内所など、神田各所で実施の計12の社会実験にご注目。

主催：神田警察通り賑わい社会実験実行委員会

お問い合わせ：UR都市機構

TEL 03-5200-8592 (平日10:00-17:00)

facebook.com/kandaforpeople/

縁むすび学校②「錦町アート大うらんど会」

スポーツとアートが融合した新感覚の運動会。27日は地元飲食店の屋台やワゴン屋台が集う「屋台村&呑みゅにけーしょん」、豪華プレゼントも用意される「企業対抗綱引き&玉入れ大会」、28日は近鉄・横浜で活躍した中根仁氏が講師の「プロから教わることも野球教室(事前予約制)」も。

10/27(金)17:00-21:00 10/28(土)10:30-17:00

会場：ちよだプラットフォームスクエア界隈
(千代田区神田錦町3-21および3-15)

神田「新・観光案内所」

神田警察通り沿道の注目空間「MID STAND TOKYO」で見る/知る、神田の新しい魅力とは。独自視点の「神田面白ツアー」も是非。当日は逗子発・小さなキッチンカーでスペシャルティコーヒーを届けるSolaso Coffee Standのコーヒーも。

10/23(月)～10/29(日)10:00-19:00

会場：MID STAND TOKYO(千代田区神田美土代町3-4)

第58回 東京名物神田古本まつり

Event Date: 2017/10/27 FRI - 11/5 SUN

参加店約100店舗、出品点数のべ100万冊余り。

世界一の(?)本の祭典が今年も開催。

靖国通りの歩道にズラリ並び、「本の回廊」はもちろん、チャリティー・オークション、特選古書即売場も見逃さない。

主催：神田古書店連盟

共催：千代田区

お問い合わせ：神田古書店連盟

TEL 03-3293-0161(代)



COFFEE COLLECTION

around KANDA NISHIKI-CHO 2017 AUTUMN

Event Date:
2017/11/3 FRI



日時:11/3(金・祝) 11:00-18:00

メイン会場：テラススクエア エントランス内
(千代田区神田錦町3-22)

第2会場：錦町トラッドスクエア

(千代田区神田錦町3-20)

EXPERIENCE NEW COFFEE WITH 5 ARTISANS

世界最高峰の1杯が味わえる至福の「コーヒーコレクション」。今回は国内外から注目される5店舗のバリスタが「伝える」をコンセプトに、「新たなコーヒー」として広まりつつあるスペシャルティコーヒーの、圧倒的な美味しさや品質の違いを「体験できる」フェスティバルへと進化します。文化と歴史が根付く創造性あふれる街・神田錦町で、新しいコーヒーとの出合いを。

お問い合わせ：

COFFEE COLLECTION 実行委員会
(GLITCH COFFEE & ROASTERS)

東京都千代田区神田錦町3-16香村ビル1F

TEL 03-5244-5458 (お問い合わせ時間 10:00-17:00)

OUR MUSIC FESTIVAL 2017

～神田錦町音楽祭～

Event Date:
2017/11/3 FRI



この秋、神田錦町で新しい音楽祭がはじまります!

神田錦町音楽祭 "OUR MUSIC FESTIVAL"は、神田錦町エリアに集う音楽を愛するひとびとによる参加型音楽フェスティバルです。わたしたちはこのフェスティバルの開催を通じて、街に「音楽のある風景」をつくっていくことを目指します。この音楽祭の主役は、この街に集い、働き、学び、暮らす、わたしたち。豊かな文化資源を持つ神田錦町界隈の新しい魅力を掘り起こし、音楽と共に共有するこの音楽祭にぜひご参加ください!

お問い合わせ:OUR MUSIC FESTIVAL実行委員会
info@ourmusicfestival.tokyo

日時:11/3(金・祝) 11:30-19:30

メイン会場:テラススクエア(千代田区神田錦町3-22)内に3会場
(オーバル屋外広場、屋外リバーステージ、2Fテラステーブル)

その他会場:GOOD MORNING CAFE錦町、L' Astre、
TOKYO PRODUCER'S HOUSE



AREA MAP

 Internationalization ISSUE
「アート」特集でご紹介した場所

 A Day with Art / 錦町さんぽ
本誌連載にてご紹介したお店

 Event / New Venue
神田錦町界隈のイベント/新店舗



gooddays

グッズ一覧 2017.10.20 発行 / 発行・編集：グッドモーニング株式会社 水代 優 www.goodmornings.co.jp

